

**かみのくにの応援団
札幌上ノ国ふるさと会総会行わる**



**上ノ国の味覚を喰う
文月祭&てつくり海鮮まつり開催される**



7月15日、「文月祭&てつくり海鮮まつり」(てつくり海鮮まつり実行委員会・株上ノ国町観光振興公社共催)が道の駅「上ノ国もんじゅ」で開催され、約100人が訪れました。合同で開催されたこのイベントでは、上ノ国産のヒラメやウニなどの海産物が安価で販売され、購入した商品を会場内で炭火焼きにして楽しむなど上ノ国の味覚を味わっていたほか、カミゴンかたこもち撒きやさくらんぼ種飛ばし大会など趣向を凝らした企画で場内を盛り上げました。

4月のリニューアルオーブン後、客足好調の「上ノ国もんじゅ」のより一層の賑わいに今後も期待しています。

犯罪被害から身を守るために



園児が飾った七夕様

6月29日、犯罪の実態とその対策を学んでもらおうと江差警察署(穴澤勝史署長)主催による「実践型防犯教室」が大留生活改善センターで行われ、約30人が様々な犯罪被害から逃れる方法を学びました。

はじめに防犯対策などを指導する会社の社員からピックティングなどの不法侵入の手口とその対策を紹介。続いてガラスの破壊実験を行うと、強化ガラスの強度に驚きの声を上げていました。

6月28日から7月8日まで、上ノ国保育所園児が制作した七夕飾りが天の川橋を行き交う人達の目を楽しました。

この取り組みは7月7日の七夕に合わせて毎年行われているもので、取り付けに際しては、事前に年長組の園児とその父母が橋の清掃を実施しています。また、使用された竹は上ノ国産だそうです。園児は手分けをしながら「よい子となりますように」と願い事がしるされた短冊や色とりどりの輪飾りを竹に飾り、天の川橋まで運び取り付けました。

